



こんにちは、 岡田よしひで

2022年12月4日発行
県議会活動報告ニュース
NO.148

自宅 南国市浜改田 430-1
TEL/FAX 865-2932
携帯 090-4337-4527

岡田よしひで事務所 864-2426 南国市駅前町 2-5-11 県議会共産党控室 823-9524 高知市丸ノ内 1-2-20

県民要求実現へ政府交渉

県民要求を直接政府に届けようと24日、党県議団5人全員と岡本和也元県議、高知市の細木良、秦愛、迫哲郎の三市議で政府交渉をしました。

白川よう子四国ブロック国政対策委員長が同行。また交渉会場の参院第二議員会館の部屋には、にひそうへい参院議員が顔を出してくれて政府にせまっていたきました。

交渉は、各省が順次部屋に来て交渉。まず、事前に渡していた要望書にそって各省から答えていただき、その上で、こちらが意見を述べ更に要請しました。私は、主に農業支援と物部川の防災対策



政府各省に県民の願いを届ける(11月24日)

策について要望しました。

物部川は4年前の集中豪雨の際、氾濫危険水位まで後3センチに迫りました。雨雲が東に移動したこと、下ノ村の引き堤工事が完了していたことでかろうじて難を免れました。が、近ごろは温暖化の影響でこれまでにない豪雨が頻発しており、雨量も増えています。

物部川は河口から9キロ地点の右岸堤防(平野部に出てきた所。地形の関係などでここで流れが右岸堤防に直接当たっている)が決壊すると香美、南国、高知市の広い範囲が甚大な被害を受けます。もちろんその他の場所で堤防が決壊しても被害が発生しますが、この地点を守ることは重要なポイントです。そこで、予算を確保し、堤防を強化することを強く求めました。

国土交通省は、堤防工事は下流から進めるのが基本で、下流には堤防の断面の幅が足りていない箇所があり、先ずはこの工事から進めていくと答えました。その事は令和7年完成予定とのこと。私は、被害が起きた場合の影響の大きさ、住民の生命財産を守るうえで緊急性があることを主張し、しっかり予算を確保して防災対策を強化するよう重ねて強く求めました。

農業では、農業を続けられる米価とMA米の輸入減、肥料燃油等の高騰対策、鳥獣被害対策などを求めました。

県議会は6日開会

県議会12月定例会は、12月6日(火)開会、21日閉会予定。日本共産党は、中根さち県議が9日に代表質問。

おむすび通信 (148)

議会報告をお届けしながら地域のことをお聞きすると、十市では津波避難路の管理に苦労していることが分かりました。倒木(竹)の撤去も大変ですが、避難路の土砂崩れの防止などは地域の自主防災組織の手に余るというのが実状ではないかと考えます。スロープは無く車イスでは上がられません。避難場所は野ざらしで、最近では山にイノシシが出るようになったといわれています。地域の高齢化もすすんでおり、時々の点検や、地域の実状に応じた防災計画の見直しも必要ではないかと感じました。

